

2025年 月 日

山口県教育委員会
教育長 繁吉 健志 様

山口県の定時制・通信制教育の充実を求める署名

ゆきとどいた後期中等教育を保障し、教職員の生活と健康を守るため、これまで教育条件整備や教員の労働条件に関して様々な要求を行ってきました。定時制・通信制教育に高い割合で在籍する、不登校や貧困、障害、外国にルーツをもつ生徒など、心理・社会的側面に特別な教育的ニーズのある生徒の対応は重要な課題であり、専門性の高い教職員の安定した配置が重要です。また、全ての学校に正規の養護教諭が配置され、通信制スクーリング時に養護教諭が在籍していることが強く要望されています。スクーリング2会場で非常勤として実現していますが、教育機会に欠くことない配置が期待されています。これらの課題に対応するため、教職員定数を増やし、少人数指導を実現して、豊かな学びが保障されることが必要です。

定時制・通信制に学ぶ生徒にも、全日制の生徒と同様に、安心して学習する権利が保障されなければなりません。とりわけ「だれでも、いつでも、どこでも」学べる定時制・通信制高校の原点をふまえることが、今こそ求められています。

つきましては、下記について要求します。

記

1. 定時制・通信制教育において、誰ひとり取り残さず、生徒の学ぶ権利を保障してください。そのため、1学級の定員を少人数化し、通学困難地域を生じさせないため、山陰地区の高校に定時制課程を設置してください。
2. さまざまな課題を抱える生徒が、きめ細かな指導・支援を受けられ、安心・安全に学校生活が送れるよう、特別な教育的ニーズに対応した専任教職員等や正規の養護教諭を配置してください。
3. 通信制のすべてのスクーリング会場を適正規模とし、教職員の加配や養護教諭の配置をおこなってください。

な ま え	な ま え

取り扱い団体（山口県高等学校教職員組合）